

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので多数ご来聴下さい。

記

演題：DNA結合化合物によるゲノム・エピゲノムの変更
新たな抗がん治療薬開発へのアプローチ

講師：永瀬 浩喜 先生

千葉県がんセンター・研究所長

日時：平成26年10月9日(木)
17時00分 ~ 19時00分

場所：共用講義室2 (M&Dタワー 2階)

講演要旨：

我々の研究室では、二本鎖DNAの副溝に配列特異的に結合する化合物の自動合成に成功し、これを利用して様々な化合物を細胞核内の特定のゲノムに送達させる研究に取り組んでいる。この技術を応用すると様々な生体内細胞で、ゲノム・エピゲノムの変更が、ゲノム領域の配列特異性を利用することで可能となる。さらに、化合物が放線菌などの創る天然由来の化合物と類似することより、創薬開発可能な化合物であると考えられる。本講義では、DNA結合化合物、ピロールイミダゾールポリアミドの特性、その応用、そして創薬開発に至るロードマップについて総説する。特に、ドライバーオンコジーンに対するがん特異的変異を標的にしたアルキル化剤の開発において、小児がん神経芽腫を含む様々ながんに対する大変有望なデータが蓄積されつつあるので紹介する。

【連絡先】疾患モデル動物解析学 鈴木・金井 (内線4109)